

令和7年11月4日

浜松市産業部林業振興課 御中

静銀経営コンサルティング株式会社

天竜林業イノベーションスクール第7回 実施報告

1. 実施概要

日 時：令和7年10月31日（金）13:00～17:00

会 場：グランドホテル浜松2階

スクールカリキュラム：

内容	講師
森林管理と木材加工の協力関係	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
ビールゲームから考える森林管理と木材加工の協力関係	中央大学 経済学部 教授 丸山 佳久
8月4日現地調査の振り返り	中央大学 丸山ゼミ・生徒
ワークショップ ビールゲーム	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
	中央大学 経済学部 教授 丸山 佳久
	中央大学 丸山ゼミ・生徒

2. 講演内容

（1）森林管理と木材加工の協力関係

前回の振り返りを通じて、林業の伝統的なイメージを刷新し、SNSや企業連携を通じたPR戦略の強化、木材の新たな用途開発、共感と呼ぶ商品づくりの重要性を示した。また本公演では、トヨタのジャストインタイム方式を例に、林業における情報分断や価格形成の不透明性、川上と川下の連携不足といった課題を明らかにし、地域全体での在庫管理や情報共有の必要性を説いた。



(2) ビールゲームから考える森林管理と木材加工の協力関係

中央大学の丸山教授は、森林整備は木材生産のみならず、環境保全などの公益的機能を含む多面的な価値を生み出していると述べた。その上で、これらの価値を持続的に発揮させるためには、地域のサプライチェーン全体が協力し合う仕組みの構築が必要であると示した。そして、ビールゲームを通じて、そのサプライチェーンの協力の重要性を実際に体験してほしいと述べた。



(3) 8月4日現地調査の振り返り

中央大学の8月に行った(株)フジイチ山林部の視察の感想を述べ、天竜地域の木材流通は、林業事業者と製材事業者の間で、注文内容や原木のニーズが十分に共有されておらず、流通の透明性や連携の強化が課題となっていると示した。



(4) ワークショップ

ビールゲームで体験した「在庫不足のパニックによる過剰注文、そして過剰在庫に至る流れ」は、木材不足（いわゆるウッドショック）などの事例でも見られる現象であることがわかった。

浜松市は森林関連の事業者が集積してお

り、定期的な情報交換や信頼関係の構築によって新たな活動の可能性が広がっている。一方で、林業事業者・製材会社・工務店などの間には、知識やニーズの違いによる課題も存在している。このような課題を踏まえ、今後は他事業者との連携や情報共有のあり方について継続的に検討し、サプライチェーン全体の最適化と地域産業の発展に資する取り組みを推進していくことが求められる。



以上